



2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月12日
東

上場会社名 アル一株式会社 上場取引所
 コード番号 7043 URL <http://www.alue.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)落合 文四郎
 問合せ先責任者 (役職名)取締役執行役員 (氏名)稲村 大悟 (TEL)03(6268)9791
 コーポレート部長
 四半期報告書提出予定日 2021年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	1,107	47.3	105	—	107	—	69	—
2020年12月期第2四半期	752	△38.8	△283	—	△288	—	△236	—

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 73百万円(—%) 2020年12月期第2四半期 △238百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	27.38	26.97
2020年12月期第2四半期	△93.90	—

(注) 1. 前第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期当期純利益はそれぞれ損失であるため、対前年同四半期増減率を記載しておりません。

2. 前第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	1,917	920	48.0
2020年12月期	1,945	844	43.4

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 920百万円 2020年12月期 844百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,270	24.8	230	—	220	—	150	—	59.44

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年12月期2Q	2,554,400株	2020年12月期	2,554,400株
2021年12月期2Q	28,544株	2020年12月期	30,800株
2021年12月期2Q	2,524,184株	2020年12月期2Q	2,519,272株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものです。

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、国内、海外ともに蔓延する新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的な拡大が依然として続く中、先行きが不透明な状況が続いております。国内では、感染症拡大防止への継続的な取り組みや、ワクチンの接種促進により、全体的な経済活動は徐々に再開されてきておりますが、未だ、感染症拡大の状況は経済に大きく影響を及ぼしており、企業毎に受ける影響の規模が大きく異なる状況となっております。

当社グループの属する人材育成業界においては、感染拡大防止の観点から、多くの企業において在宅・テレワークが推進され、研修の形は、一か所に集合して行う集合研修からオンラインでの研修実施やeラーニングの利用へ大きくシフトしており、またその環境が定着してきております。

そのような中、当社グループでは、当第2四半期連結累計期間において、每期大規模に実施している国内大手法人顧客向けの新人研修の実施に注力しながら、オンライン化のメリットが大きい管理職領域やグローバル人材育成の研修の拡大についても取り組んでまいりました。

以上の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間における売上高は、1,107,497千円(前年同期比47.3%増)と前年同期に比べ355,479千円の増加となりました。これは、前年同期において新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により研修のキャンセルが多くあったものの、当第2四半期連結累計期間は、顧客企業側でもテレワークやオンライン研修の実施が浸透し、研修の実施がコロナ以前の状況に戻ったことによるものです。

利益面におきましては、オンライン研修やeラーニングの実施割合が大きく伸長したことにより、納品に係る外注費や印刷費、渡航費用などが削減されたことや、当社のカスタマイズにかかわる従業員のテレワーク実施の継続により、売上原価率が低下し、売上総利益が大きく伸長いたしました。

また、販売費及び一般管理費におきましてもテレワークの実施推進や、営業活動のオンライン化は旅費交通費や消耗品費等の低減につながりました。

上記の要因により、営業利益は105,035千円と前年同期に比べ388,284千円改善し、経常利益は107,511千円と前年同期に比べ395,529千円改善することとなりました。

以上の結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は69,120千円と前年同期に比べ305,668千円増加となり大幅に利益が改善することとなりました。

なお、新型コロナウイルスに関連する感染症の事業への影響につきましては今後も注視してまいります。

当社グループは単一の報告セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

財政状態については、当第2四半期連結会計期間末では以下の通りとなりました。

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)	増減
流動資産	1,694,793	1,662,133	△32,660
固定資産	250,790	255,770	4,979
資産合計	1,945,584	1,917,903	△27,680
流動負債	432,119	456,438	24,318
固定負債	669,119	540,833	△128,286
負債合計	1,101,239	997,271	△103,967
純資産合計	844,345	920,631	76,286
負債純資産合計	1,945,584	1,917,903	△27,680

主な変動理由は以下の通りです。

流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産残高は、1,662,133千円となり、前連結会計年度末に比べて32,660千円の減少となりました。これは主に、売掛金の回収により売掛金が136,519千円減少した一方で、現金及び預金が120,828千円増加したものである。

固定資産

当第2四半期連結会計期間末における固定資産残高は、255,770千円となり、前連結会計年度末に比べて4,979千円の増加となりました。これは主に、オンライン研修登壇用のブース造作工事等に伴い建物附属設備が8,721千円増加したことによるもののほか、主に管理職向けの研修に係るコンテンツ資産の増加や制作中のeラーニング用コンテンツの増加に伴い無形固定資産が9,463千円増加した一方で、当第2四半期連結累計期間において親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により、税務上の繰越欠損金にかかる繰延税金資産等が17,404千円減少したことによるものです。

流動負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債残高は、456,438千円となり、前連結会計年度末に比べて24,318千円の増加となりました。これは主に、当第2四半期連結累計期間において親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により、未払法人税等が26,517千円増加したことによるものです。

固定負債

当第2四半期連結会計期間末における固定負債残高は、540,833千円となり、前連結会計年度末に比べて128,286千円の減少となりました。これは、長期借入金の返済によるものです。

純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産残高は、920,631千円となり、前連結会計年度末に比べ76,286千円の増加となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が69,120千円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

昨今の緊急事態宣言の発出及び延長など、新型コロナウイルス感染症が収束する時期の見積は不確実性を伴い困難であると考えております。

一方で、当社グループを取り巻く市場環境は、緩やかではありますが回復に向かっているものと予想されます。

このような状況下において、当社グループは顧客環境や新しい働き方に合わせ、オンライン研修の実施やデジタル教材の開発及び投資を継続して行い、研修テーマの拡充やeラーニングコンテンツの拡大を積極的に図ることで事業規模の拡大に努めてまいります。

そのため、当社グループが属する人材育成市場の研修のオンライン化の流れはより加速するものと考えており、2021年中の新型コロナウイルス感染症による当社業績へ及ぼす影響は軽微であり、またその影響は緩やかに2021年度末にむけ改善するものと予測しております。

以上のことから業績への影響は2021年2月12日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,293,798	1,414,627
売掛金	327,145	190,625
仕掛品	334	141
その他	73,515	56,738
流動資産合計	1,694,793	1,662,133
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備（純額）	16,890	25,611
その他（純額）	5,011	8,323
有形固定資産合計	21,902	33,935
無形固定資産		
ソフトウェア	14,743	15,606
のれん	22,893	19,772
その他	32,167	43,890
無形固定資産合計	69,804	79,268
投資その他の資産		
差入保証金	57,251	58,138
繰延税金資産	93,782	76,377
その他	8,050	8,050
投資その他の資産合計	159,083	142,566
固定資産合計	250,790	255,770
資産合計	1,945,584	1,917,903

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	24,196	24,289
1年内返済予定の長期借入金	287,408	268,880
未払金	48,437	53,048
未払費用	17,146	17,671
未払法人税等	464	26,981
前受金	16,518	18,681
その他	37,947	46,885
流動負債合計	432,119	456,438
固定負債		
長期借入金	667,087	538,801
その他	2,032	2,032
固定負債合計	669,119	540,833
負債合計	1,101,239	997,271
純資産の部		
株主資本		
資本金	365,280	365,280
資本剰余金	345,280	346,081
利益剰余金	147,012	216,133
自己株式	△31,595	△29,309
株主資本合計	825,978	898,186
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	18,366	22,445
その他の包括利益累計額合計	18,366	22,445
純資産合計	844,345	920,631
負債純資産合計	1,945,584	1,917,903

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
売上高	752,018	1,107,497
売上原価	400,087	413,733
売上総利益	351,930	693,764
販売費及び一般管理費	635,180	588,728
営業利益又は営業損失(△)	△283,249	105,035
営業外収益		
受取利息	448	23
為替差益	—	3,887
助成金収入	462	1,151
その他	540	297
営業外収益合計	1,451	5,358
営業外費用		
支払利息	1,500	2,882
為替差損	4,719	—
営業外費用合計	6,219	2,882
経常利益又は経常損失(△)	△288,017	107,511
特別損失		
事業整理損	11,491	—
新型コロナウイルス感染症による損失	20,663	—
特別損失合計	32,154	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△320,172	107,511
法人税、住民税及び事業税	4,180	20,984
法人税等調整額	△87,804	17,407
法人税等合計	△83,624	38,391
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△236,548	69,120
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△236,548	69,120

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△236,548	69,120
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△2,211	4,079
その他の包括利益合計	△2,211	4,079
四半期包括利益	△238,759	73,199
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△238,759	73,199
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。